



試験区分：一般農業(畜産)

農林水産部 農業総合研究センター
養豚研究所



研究員 藤田 琴菜

ある1日のスケジュール

- 8:30 業務開始、朝会
- 9:00 来年度開始の新規試験の検討
- 10:30 豚舎にて豚精液の活力検査、採血
- 13:00 試験に用いる飼料添加剤の調製
- 15:00 豚精液の奇形率検査
- 16:30 精液供給に関する事務
(供給先農家、供給本数、金額などのチェック)
- 17:15 業務終了

入庁後の経歴

令和 2 年度 入庁
農林水産部 農業総合研究センター 養豚研究所



Q 現在の担当業務を教えてください。

人工授精用の豚精液について、夏季の暑熱対策に関する試験研究を担当しています。体に熱をため込みやすい豚にとって、高温は大きなストレスとなり精液品質も低下してしまうため、それを防止できるよう研究に励んでいます。養豚研究所では県内養豚農家に向けて精液を供給しており、精液品質の維持・向上は重要な課題となっています。県内の豚の能力向上にも繋がる仕事なので、大変やりがいを感じています。

Q これまでの業務で印象に残っていることは。

農家体験研修にて受け入れ先の農家の方から、どのような豚を求めているのか具体的な要望を聞いたことです。家畜伝染病予防のため研究員は外部と顔を合わせる機会が比較的少なく、現場の生の声を直接聞いたのは、この時が初めてでした。自分の仕事の先には必ず県民の生活があることを再確認し、山形県の畜産農家の助けになる仕事ができるよう精進しようと思います。

Q みなさんにメッセージをお願いします。

ひとことに「畜産」と言っても、配属先によって扱う動物や仕事内容は様々です。それぞれで求められる知識やスキルも異なるため大変なこともありますが、上司や農家の方、ときには動物たちからたくさん学びを得られるのはとても楽しく、日々自身の成長に繋がっている実感があります。ぜひ一緒に山形の畜産を盛り上げましょう！

